

感染症や災害などのリスクマネジメントを徹底!

「日本一暮らしやすい埼玉へ」本格始動!

自治体のワクチン接種優先 特措法を盾に総理へ直談判

「感染の最後の戦いはワクチン接種になる」。昨年
前半からこう言い続けてきた大野もとひろ知事は、昨年
8月に接種を主導する市町村長に準備を呼びかけると
ともに、県庁内にいち早くワクチンチームを立ち上げま
した。1月には約3000人の医療関係者向けにワクチン
接種に関する講習会を開催しました。

また、県医師会に働きかけて県内のワクチン接種能
力を倍増し、市町村の接種をより円滑にするため、医師
や看護師の派遣に伴う補助金なども設けました。

さらに高齢者への接種が始まって間もない5月10日
には、埼玉県が独自に医療従事者を確保したうえで、集団
接種会場を直接設置・運営することを発表しました。市町
村のワクチン接種支援が目的で、全国初の取り組みです。

6月1日に開設された「埼玉県高齢者ワクチン接種セ
ンター」(浦和合同庁舎内)では、これまで3万8986回
(7月20日現在)の接種を終えています。65歳以上の県
民への接種については、市町村が設定した目標値を7
月中に達成する見通しです。今月からは県運営の接種
センターを熊谷、川越、越谷の3市にも開設し、エッセ
ンシャルワーカーへの優先接種をはじめ、1日当たり
3600人に接種する予定です。

一方で、ワクチン確保への懸念が浮上してきました。
企業などによる職域接種にワクチンを回すため、自治体
接種に影響が出たのです。職域接種と異なり、自治体
接種は法で定められています。また職域接種が優先され
れば、自治体は基礎疾患を有する方やエッセンシャルワ
ーカーらへの接種を後回しにせざるを得ません。



65歳以上の県民へのワクチン接種について見通しを示す(6月10日記者会見)

こうした事態を避けるため、大野もとひろ知事は国政
で培った様々なルートを通じて自治体接種用ワクチン
の確保に日々尽力しています。7月5日には新型イン
フルエンザ等対策特別措置法の第24条4項に基づき、国
の対策本部長(内閣総理大臣)に自治体へのワクチン供
給を強く求めました。

内閣総理大臣に対し「所要の総合調整を行わなけれ
ばならない」と規定する特措法を盾に総理へ直談判し
た知事は、全知事の中で埼玉県の大野もとひろ知事だ
けです。

飲食2.2万店に安心ステッカー 戦略会議でコロナ禍の経済対策も

大野もとひろ知事は飲食店や大規模商業施設への
営業時間短縮要請に先立ち、高齢者施設職員へのPCR
検査や、クラスター発生が懸念される業種への注意
喚起など総合的な感染防止対策も実施してきました。

今では全国で見られる、飲食店などに貼られているス
テッカーは、大野もとひろ知事が「彩の国『新しい生活
様式』安心宣言」として考案し、全国に広まったもの
です。感染防止対策を実施している飲食店を現地で認証
し、利用者に安心していただくための制度「彩の国『新し
い生活様式』安心宣言飲食店プラス」も効果を発揮して
います。市町村や経済団体の協力も得て、これまでに
2万2277店(7月20日現在)に認証ステッカーを交付し
ました。このステッカーは来店されるお客様やそのご家
族を守るといふ飲食店の決意を県が証明するものです。

埼玉県はコロナ禍の影響を受けている飲食店や酒卸
事業者への協力金支給にとどまらず、換気対策などへ
の補助金、商工会議所との連携による業態転換や事業
承継などへの支援、さらに過去最大規模の制度融資な
ど多くの経済対策を講じています。その結果、昨年の県



「まん延防止等重点措置」延長への理解と協力を呼びかける(7月8日記者会見)

内の倒産は過去30年間で2番目に低い件数にとどまっ
ています。

一方、コロナ禍が長期化することを見据え、第一波直
後の昨年5月末頃から「強い経済の構築に向けた埼玉
県戦略会議」で、ウィズコロナ・ポストコロナを視野に入
れた多様な経済対策を練り上げています。コロナ禍で
の経済対策を産官学金労で協議する体制にしたのは、
埼玉県が全国で初めてです。

こうした実効的かつ戦術的な対応を重ねてきたにも
かかわらず、依然として病床利用率の上昇や感染力が
強いと指摘される変異株(デルタ株)への懸念もあるこ
とから、いましばらく様々な制約をお願いせざるを得ま
せん。県民をはじめ、事業者や医療機関、福祉施設の皆
様には、これまでのご協力を感謝申し上げますととも
に、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し
上げます(7月20日現在)。

2021年 大野 知事 日々の活動 (抜粋)



6/1 感染防止対策を 呼び掛ける街頭活動

イオンモール北戸田店で「高齢者
のワクチン接種が本格的に始ま
り、新型コロナウイルスとの苦し
い闘いの中にも一筋の光が見え
てきているが、ここで気を緩めず
に感染防止対策をとことん徹底
していただきたい」と強調。

6/28 河野太郎内閣府特命担当大臣 (新型コロナウイルス感染症ワクチン接種担当)への要望



ワクチン接種担当の
河野大臣にワクチン
配分計画の早期提示
などを求める。



5/28 パナソニック ワイルドナイツ表敬訪問

優勝と新チーム名の報告で表敬訪問。「新チ
ーム名に『埼玉』を冠していただけることを大歓
迎。新天地熊谷で迎える新リーグも全力で応
援する」と堀江翔太選手(左)にエールを送る。



6/11 県立熊谷女子高校漫画愛好会への 感謝状贈呈式

日本初の公認女性医師、荻野吟子の生涯を紹
介するマンガPR冊子の制作協力への感謝状
を贈呈。「皆さんが描いた漫画の力で、多くの
人に荻野吟子の功績を知って貰える」と祝福。



7/1 アニメ『秘密結社 鷹の爪団』の キャラクターが知事を表敬訪問

埼玉県とのコラボによるウェブ広告動画など
でコロナの感染防止啓発活動を行っている
総統と吉田くんに指令を伝える。



7/13 全国新酒鑑評会、 県内5銘柄が金賞

小山本家酒造(さいたま
市、「金紋世界鷹」)、横田
酒造(行田市、「日本橋」)、
武甲酒造(秩父市、「武甲
正宗」)、北西酒造(上尾
市、「文楽」)、釜屋(加須市、「力士」)の5社に感謝状を贈呈。良
質な水に恵まれた埼玉県は関東屈指の酒どころ。



「静美食」をPR

「静かに食材の味を楽し
み、礼儀良く、美味しく食
べる」というコロナ禍の中
での新しい食事マナーを
提案。食事の際に料理を
作ってくれた人や食材に
静かに感謝するという日本
古来の習慣がヒント。書道
家、宮田天風(てんぷう)氏
の揮毫。